



株式会社サトーマシーナリ

富山市婦中町萩島向島
各種プラント設備の設計・製作・据付
E-mail: info@sato-m.co.jp

共同研究 企業紹介

NACHI 株式会社 不二越

富山市不二越本町
工具、工作機械、超精密加工機械、ベアリング、
油圧機器、ロボットシステム、特殊鋼、工業炉
などの製造販売
http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/



不二越本館と大型ロボット工場

1 研究協力会を知ったきっかけ

研究協力会のことは設立の案内があり知ったのですが、当社が業務を進める上でも学識経験者の意見を聞きたいと思い入会しました。

2 大学の知識の蓄積を活かす

当時自社では新装置の開発を進めていました。その装置を市場に出す前に、安全・環境を含んだ理論的裏づけの検証が求められていましたが、当社には環境・生物に関する知識の蓄積がありませんでした。そこで共同研究に応募しました。

3 短期間で確実な製品を生み出す -中小企業が抱える課題を解決-

中小の民間企業が新製品を開発する場合には、費用・時間・知識が不足しているため、世の中に広く普及できる

製品にすることには限界があります。学識者からの助言・指導があれば短期間でより確実な製品を作り出せることが可能となると思っています。

4 今後の進め方

現在進めている共同研究「分別・処理一体型ユニバーサル食品残渣処理機」の開発の成果を踏まえて新製品の機能改良に努め、世の中に広く普及できる製品にしたいと考えています。

これを機会に産学連携の絆を更に深め、地域に密着した貢献できる企業を目指していきます。

□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□ 2006.03 □□□□□□□□
□□□ 実業之富山にて共同研究 □□□
□□□の内容が紹介されました □□□
□□□□□□□□□□□□□□□□

大学が行う研究には、基礎的・理論的な内容が伴う論文川の研究と、企業などと一緒に実用化に向けた研究の2種類があります。しかし、大学の先生の「評価」となるのは、やはり前者の論文研究です。

今後、地元企業との連携による成果をもっと創出していくためには、産学連携の業績も大学の先生の評価につながる必要があると考えております。

完全地域密着型の富山県立大学だからこそ、できることがたくさんあると思います。今後の産学連携の更なる発展に期待しています。

＜共同研究者＞
助教授 立川

研究者の論文研究です。

今後、地元企業との連携による成果をもっと創出していくためには、産学連携の業績も大学の先生の評価につながる必要があると考えております。

完全地域密着型の富山県立大学だからこそ、できることがたくさんあると思います。今後の産学連携の更なる発展に期待しています。

1 研究協力会を知ったきっかけ

前地域連携センター長であった植松先生の講演会で大学の産学の取り組みを知ったのがきっかけです。

2 共同研究に対する要望

若手技術者を対象として、CAE解析を学び、実際に抱えている課題を解決できる能力を身につけさせたいと考えていました。

地域連携センターの定村先生に相談したところ、サテライトキャンパスで「有限要素法の心川」のセミナーをされた森先生を紹介され、今回の取り組みとなりました。

3 受講者の成長を期待

日常業務とは切り離して、大学という環境で学ぶことを通じて受講者の考

え方、ものの見方が変わります。世の中はここまで進んでいるんだ、こんなこともできるという発見と驚きにより、今まではあきらめていたことに挑戦する姿勢を育みたいと考えています。

また大学の先生や学生と交わり、人脈をつくることも期待しています。

4 今後の進め方

社内報告会を定期的に開催し、受講者だけにとどまらず、共同研究に対する司僚、上司の意識も高めたいと考えています。加えて、大学の先生を講師に招いた講演会などを開催し、技術者の視野を広げていきます。

交流を重ね、リソースを含めて連携を強化していきたい。



＜共同研究者＞
助教授 森

私も以前は民間の企業に勤めておりました。その頃も、大学との共同研究に携わっていたということもあり、今でも共同研究等には積極的に取り組んでおります。企業側の考えも

長く分かりますので、「大学に何を求めているのか」ということを理解しながら進めていきたいと考えております。

また、共同研究は学生にも良い刺激を与えてくれます。企業の方々の働く姿勢を間近に感じることで、就職活動へも良い影響を与えているようです。企業人の育成と学生の育成を兼ね備えた産学連携をもっと活発化させるべきであると考えております。

HCS 北陸コンピュータ・サービス株式会社

富山市婦中町島本郷
(富山イノベーションパーク内)
コンピュータ利用に関するコンサル
ティング、ソフトウェア開発・
販売、情報処理アウトソーシング、
ネットワーク構築 他
http://www.hos.co.jp/



来年、創立40周年を迎える当社は、先進開発スキルやネットワーク構築技術で北陸三県等のお客様が抱えるIT化ニーズに呼応したソリューション及びアウトソーシングサービスを提供しております。最近では、昨年リリースした『ターコイズ販売管理システム』が最新技術を駆使したオブジェクト指向、XML Web対応型ソリューションで高い評価をいただいています。研究協力会メンバーとしてIT技術を通して県立大学と連携を深めていきたいと考えております。

【卒業生の声】

母校で修得した技術を元に、首都圏をベースとした大規模ネットワークの構築を担当しています。近年問題となっている個人情報漏洩対策等、ネットワーク技術はより複雑化、多様化しています。最先端の研究成果の応用や業界ニーズのフィードバック等、有意義な交流を相互に行いたいものです。



2001年卒業 中本康克さん

HDK 北陸電気工業株式会社

富山市下大久保
電子部品製造・販売
http://www.hdk.co.jp/



弊社は1943年の創業より抵抗器をはじめとさまざまな電子部品の開発に取り組み、世の中に提供してまいりました。そして、これまでの「抵抗器の北電工」から「センサ&モジュールのHOKURIKU」という新生、価値創造企業への変身を目指しております。コア技術となっている抵抗器分野では超小型SMD部品の量産を拡大する一方で、つちかった技術から生まれた新センサの量産もはじめています。今後も「良い製品を作り社会の発展に尽くす」という創業時からの精神を生かしつつ、皆様の期待に応え、信頼を得ていきたいと考えております。

【卒業生の声】

富山県立大学は少人数教育であるため、先生との距離が近く、対話もしやすい環境でした。卒業研究では懇切丁寧にご指導頂き大変感謝しております。

今後も社内の技術的課題についてご相談したいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。



2001年卒業 市井利明さん

CK シーケ-金属株式会社

高岡市守護町
配管機器の製造販売・
垂れめっき加工
http://ckmetals.co.jp



当社は、パイプとパイプを接続する鉄管継手を、日本で唯一100%自社一貫生産し、地球環境や配管施工の作業性・確実性に配慮した配管機器を、自社ブランド「CK」で提供しています。オリジナル製品の開発に力を注ぎ、有害物質を一切使用しない配管システムを次々に発売することで業界をリードしています。

また、北陸地域最大の鍍金メーカーとして大型建造物から小物まで幅広い鍍金に対応しています。世界で初めて鉛とカドミウムを含有しない溶融亜鉛めっきの量産化に成功し、この特許技術を供与することで世界的なフランチャイズ展開に挑戦しています。

これからも「期待され、期待に応え、期待を超える」メーカーであり続けるため、弛みない努力を重ねます。

【卒業生の声】

CK金属には富山県立大学出身の社員がとて多く、様々な職場で活躍しています。

私は入社4年目です。入社して1年半ほど、工場でNC旋盤のプログラミングなどをしていました。その後、品質管理部品質保証課の係長となり、今年の4月からは品質保証課の課長代理として、充実した毎日を送っています。



2003年卒業 平池哲哉さん

LOSSEV TECHNOLOGY 露ロゼフテクノロジー

南砺市野尻
制御盤・配電盤・電気制御システム
の設計・製作、計測検査機器・
精密自動機械の設計・製作、
画像処理システムの設計・製作
http://www.lossev.co.jp



当社は、親会社である株式会社日平トヤマの制御部門として設立され、30年あまりの月日を重ね、その間、超精密、高精度の市場ニーズに呼応し、精密機械・画像処理技術を開発し、精密加工・精密検査装置のシステムメーカーとして成長してまいりました。

昨今、お客様のニーズも高度化し、多様化しておりますので、大学や研究会の方々に教養を頂き、技術を補い、お客様に満足頂ける企業を目指し続けます。

【卒業生の声】

私は、富山県立大学機械システム工学科を卒業し、現在は機械技術職に就いております。機械・電子・情報分野の最先端の研究を行っておられる県立大学、研究協力会と密接に情報交換や技術交流を行うことは、会社の技術力向上を促進する大きなプラス要素になると思っています。



2005年卒業 本保能大さん